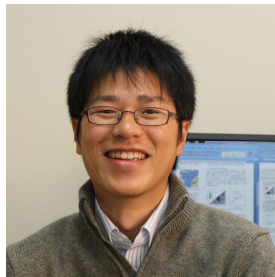


研究機関名	広島大学				
プログラム名	気球カメラを使って衛星リモートセンシングの魅力を感じよう！				
先生(代表者)	作野裕司(さくの ゆうじ)大学院先進理工系科学研究科 ・准教授				
自己紹介	趣味はスポーツ全般で、研究の専門は「リモートセンシング工学」です。もともとは衛星画像を使った環境研究をしていましたが、最近は気球やドローンにとりつけたカメラ画像による身近な地域の環境解析にはまっています。				
開催日時・募集対象	2020年11月7日(土)	受講対象者	小学校 5・6年生 中学生	募集人数	20名
集合場所・時間	オンライン		(集合時間)	12:30	
開催会場	オンライン発信元: 広島大学工学部 A2 棟 2F 会議室 住所: 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1				
内 容					
広島大学では、気球、ドローン、衛星など、空から撮影された画像を使って、自然を解明する研究を行っています。このような学問を「リモートセンシング」と呼んでいます。この学問を応用すると、人工衛星から映した写真によって世界の自然環境の状態を知ることができるという魅力があります。このイベントは、今回で13回目となり、毎年たくさんの受講生と大学での研究成果を楽しく、分かりやすく体験してもらいイベントとなっています。今年度は新型コロナウイルスの影響で、オンライン開催となりますが、まず前半は衛星にのせられた様々なカメラの仕組みを分かりやすく講義します。後半は、「カール爺さんの浮力実験」や「気球実験」のビデオ体験をしてもらいます。この機会にあなたも参加してみませんか？					
持ち物 ・筆記用具 ・郵送した実験キット ・セロテープ ・ネットワークがつながっているパソコン(スマートフォンでも参加は可能ですが、動作の保証はできません)。			特記事項 ・新型コロナウイルス関連で、オンライン開催となりましたので、説明に使う教材は、すべて事前に郵送します。 ・登録された参加者には、事前に Web 会議 (Teams 予定) の招待メールを送りますので、招待メールに従ってイベントに参加してください。(接続手順は、教材と一緒に郵送します)		



令和元年の集合写真

スケジュール

12:30 ~ 13:00	オンライン受付 (Teams 予定) , 参加者・音声・画像の確認
13:00 ~ 13:15	開講式 (あいさつ , 自己紹介 , 科研費の説明など)
13:15 ~ 14:15	講義「気球映像からみた自然の不思議 (講師: 作野裕司)」 (途中 15 分休憩)
14:15 ~ 14:30	質問タイム
14:30 ~ 15:00	休憩
15:00 ~ 15:30	「カール爺さん」の浮力実験のビデオ鑑賞とその説明
15:30 ~ 15:40	気球の打上体験のビデオ鑑賞とその説明
15:40 ~ 16:00	撮影画像鑑賞 (ビデオ鑑賞) と感想
16:00 ~ 16:15	アンケート入力 , 修了のあいさつ .
16:15	終了 , 解散

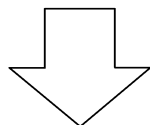
課題番号	20HT0194	分野	工学・自然	キーワード	人工衛星
------	----------	----	-------	-------	------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	広島大学大学院先進理工系科学研究科・作野裕司
住 所	東広島市鏡山 1 丁目 4 番 1 号 大学院先進理工系科学研究科
T E L 番 号	0824247773
F A X 番 号	
E - m a i l	sakuno@hiroshima-u.ac.jp
申込締切日	2020年10月18日（日）
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2019年度 ~ 2021年度	基盤研究(B)（一般）	19H04292	衛星・音響データと数値モデルによる養殖場周りの土砂流出警告システムの開発
2015年度 ~ 2016年度	挑戦的萌芽研究	15K14041	自立飛行UAVを利用した閉鎖性水域の非接触塩分測定システムの開発
2012年度 ~ 2014年度	基盤研究(C)（一般）	24560623	リモートセンシングによる自然災害後の濁水がサンゴ礁・藻場に与える影響調査手法開発



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000020332801>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。